



# 広報 八代東

第3号

発行日 平成26年9月30日  
責任者 校長 上妻 利博  
編集 八代東高校総務部(広報)  
<http://www.higo.ed.jp/sh/yatuh/>

視野を広げる

校長 上妻 利博



クリスティーン先生手作りの  
"English Board"の前で

今夏8月末、台湾に行く機会があった。熊本県の商業系高校で学ぶ生徒の台湾研修が12月に予定されているが、その下見と打合せのために、現地企業や交流予定高校を訪問したのだ。私はこの機会に、台湾からの東日本大震災義援金への御礼を、現地ガイドや台湾関係者に述べた。

震災後、台湾の動きは極めて早かつた。台湾は、どの国よりも真っ先に5月には百六十億円の義援金を日本に送った。台湾中部大地震(1999年)や台風豪雨被害(2003年)で日本から受けた支援に対する恩義があつたというが、その素早い対応には感激した。

私は御礼を述べ、また熊本・高雄間の定期便就航や熊本の海外修学旅行の気運に触れると、皆さん例外なく台湾と熊本との関係が進むことを願い、台湾人が日本びいきである理由を説明された。

「日本統治時代については個々に複雑な思いもあるでしょうが、基本的に台湾人は日本人が好きです。この時代に道路や橋梁など基本的なインフラが整備されたのです。台湾総督府は戦後壊されることなく、現在でも中華民国総統府として使われ、長野宇平治(ながのうへいじ)氏が設計した美しい建物は台湾人のお気に入りです。また、水利技術者八田與一(はったよいち)氏が作った

灌漑用の烏山頭(うさんとう)ダムのお陰で、今でも台南全域に水が安定供給していることを、みんな感謝している。その教育による公徳心のお陰で台湾は急速に近代化を遂げたのだ、と感謝されていた。

国境を越えるだけで、外から自分と自分を見る事ができる。日本人として先人が残した偉業を誇らしく思うと同時に、自分ももつとしないとせねば、と自戒した。台湾の町並みや市民の習俗の日本との違いを見ただけでも視野が広がった気がした。グローバル教育の充実が叫ばれている。決して「内向き」にならず異文化交流の中から広い視野を持つことが大切だ。今年度の海外修学旅行は実現しなかつたが、視野を広げることは身近にも可能ではないか。ちょっとアクションを起こす。

クリスティーン先生が、アメリカから来日された。職員室前廊下にはポストがあつて、手紙を投函すれば先生から返事がある。短文でもいい、出してはどうか? 私も聞きたいことが山のようにある。オハイオ州では、「オハヨウ」と言うことがあるのか? 村上春樹はアメリカでも人気か? アメリカで熊本県を知っているか? くまモンは? クマモトオイスター食べたことはあるか? クールジャパンはあるか?

アメリカと日本の高校生はどう違うか? 八代東高校の印象は? 八代東高校は戦後壊されることなく、現在でも中華民国総統府として使われ、長野宇平治(ながのうへいじ)氏が設計した美しい建物は台湾人のお気に入りです。また、水利技術者八田與一(はったよいち)氏が作った

実用英語技能検定  
2級 合格  
3年情報会計科

3年商業科  
準2級 合格

嶋浦七瀬(田浦)

岡本恵梨香(小川)  
豊永雅章(多良木)  
佐枝桃佳(鏡)

岡本恵梨香(小川)  
小村瀬奈(八代四)

久木田このみ(坂本)

竹口澄(八代二)

北原愛(竜北)

中村綾華(宇土鶴城)

半田茜(小川)

橋口智子(八代四)

松坂亜悠加(坂本)

山口未知瑠(鏡)

霜上雄一(岱明)  
野田悠斗(大和)  
濱崎駿(秋月)  
吉野貴亮(志垣裕斗(大和))  
小坂優也(合志)

中川寛樹(清水)  
福原雄志(清水)  
野田悠斗(大和)  
濱崎駿(秋月)  
福原雄志(清水)

山元拓摩(田崎)  
平川透(岱明)  
川原聰磨(大和)  
山村友哉(八代二)  
高野拓朗(菊池南)  
山口颯斗(坂本)  
井村友哉(八代二)  
山元拓摩(田崎)  
川波篤史(玉藻)  
郡司太一(大谷)  
山元拓摩(武藏ヶ丘)  
平川透(岱明)

中川愛(八代二)  
竹原朋佳(八代八)  
井本晴夏(八代七)  
山本亜弥(八代四)

小村瀬奈(八代四)

岡本恵梨香(小川)

豊永雅章(多良木)

佐枝桃佳(鏡)

北原愛(竜北)

中村綾華(宇土鶴城)

半田茜(小川)

橋口智子(八代四)

松坂亜悠加(坂本)

山口未知瑠(鏡)

霜上雄一(岱明)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

吉野貴亮(志垣裕斗(大和))

小坂優也(合志)

中川寛樹(清水)

福原雄志(清水)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

福原雄志(清水)

山元拓摩(田崎)

平川透(岱明)

川原聰磨(大和)

山村友哉(八代二)

高野拓朗(菊池南)

山口颯斗(坂本)

井村友哉(八代二)

山元拓摩(武藏ヶ丘)

平川透(岱明)

中川愛(八代二)

竹原朋佳(八代八)

井本晴夏(八代七)

山本亜弥(八代四)

小村瀬奈(八代四)

岡本恵梨香(小川)

豊永雅章(多良木)

佐枝桃佳(鏡)

北原愛(竜北)

中村綾華(宇土鶴城)

半田茜(小川)

橋口智子(八代四)

松坂亜悠加(坂本)

山口未知瑠(鏡)

霜上雄一(岱明)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

吉野貴亮(志垣裕斗(大和))

小坂優也(合志)

中川寛樹(清水)

福原雄志(清水)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

福原雄志(清水)

山元拓摩(田崎)

平川透(岱明)

川原聰磨(大和)

山村友哉(八代二)

高野拓朗(菊池南)

山口颯斗(坂本)

井村友哉(八代二)

山元拓摩(武藏ヶ丘)

平川透(岱明)

中川愛(八代二)

竹原朋佳(八代八)

井本晴夏(八代七)

山本亜弥(八代四)

小村瀬奈(八代四)

岡本恵梨香(小川)

豊永雅章(多良木)

佐枝桃佳(鏡)

北原愛(竜北)

中村綾華(宇土鶴城)

半田茜(小川)

橋口智子(八代四)

松坂亜悠加(坂本)

山口未知瑠(鏡)

霜上雄一(岱明)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

吉野貴亮(志垣裕斗(大和))

小坂優也(合志)

中川寛樹(清水)

福原雄志(清水)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

福原雄志(清水)

山元拓摩(田崎)

平川透(岱明)

川原聰磨(大和)

山村友哉(八代二)

高野拓朗(菊池南)

山口颯斗(坂本)

井村友哉(八代二)

山元拓摩(武藏ヶ丘)

平川透(岱明)

中川愛(八代二)

竹原朋佳(八代八)

井本晴夏(八代七)

山本亜弥(八代四)

小村瀬奈(八代四)

岡本恵梨香(小川)

豊永雅章(多良木)

佐枝桃佳(鏡)

北原愛(竜北)

中村綾華(宇土鶴城)

半田茜(小川)

橋口智子(八代四)

松坂亜悠加(坂本)

山口未知瑠(鏡)

霜上雄一(岱明)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

吉野貴亮(志垣裕斗(大和))

小坂優也(合志)

中川寛樹(清水)

福原雄志(清水)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

福原雄志(清水)

山元拓摩(田崎)

平川透(岱明)

川原聰磨(大和)

山村友哉(八代二)

高野拓朗(菊池南)

山口颯斗(坂本)

井村友哉(八代二)

山元拓摩(武藏ヶ丘)

平川透(岱明)

中川愛(八代二)

竹原朋佳(八代八)

井本晴夏(八代七)

山本亜弥(八代四)

小村瀬奈(八代四)

岡本恵梨香(小川)

豊永雅章(多良木)

佐枝桃佳(鏡)

北原愛(竜北)

中村綾華(宇土鶴城)

半田茜(小川)

橋口智子(八代四)

松坂亜悠加(坂本)

山口未知瑠(鏡)

霜上雄一(岱明)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

吉野貴亮(志垣裕斗(大和))

小坂優也(合志)

中川寛樹(清水)

福原雄志(清水)

野田悠斗(大和)

濱崎駿(秋月)

福原雄志(清水)

# 熱戦！ 平成26年度 東高体育大会



等間隔に整列した、  
体育コース全学年による集団行動の演技。



ハイ、ポーズ！

快晴の日曜日、東高グラウンドでは熱戦が繰り広げられました。大勢のご来場と、たくさんのご声援をいただきました。  
ありがとうございました！

制限時間内に何回跳べる？



波乱万丈？ むかで競争  
息が合わないと大変なこと  
に・・・

声を掛け合って、一齊にジャンプ！  
長縄跳びは飛ぶほうも大変ですが、  
実は縄を回すほうも重労働なんです。



女子生徒の人数が多いので、フォークダンスも女子×女子のペアがたくさんできました。  
これはこれで、「たのしい！」

ああつ、どっちが勝った？



どの団も、規定の時間にぴったりとあわせて演技を終えました。会場からは思わず、「おお～！」とどよめきと拍手が。



↑ 集団の美黄団

← 華麗なる赤団

↓ 迫力の紫団



各団のカラーを基調とした応援マスコット。係りは夏休み中にがんばって仕上げました。  
それぞれに世相を反映したものをモチーフに選び、ベニヤ板9枚を使った力作です。  
今年のマスコットの部優勝は黄団でした。

赤団：アナと雪の女王

黄団：ネイマール

紫団：羽生結弦



迫力満点！ ↑

ピリッと引き締まった空気

本気で挑む後輩たちに、真剣な表情で応戦→



普通科体育コースの小本・新本・ペアを相手に、ペアでの試合を見せて頂きました。あまりの迫力・スピードに目が追いつかず、シャトルの飛ぶ音や気合の入った掛け声に圧倒され、生徒たちからはため息がこぼれていきました。

7月18日（金）の終業式の後、生徒たちにうれしい出来事がありました。それが世界で活躍するバドミントン部の先輩たちが、学校に来てくださいました。それもトマスカップ優勝という、大舞台での成績を報告するためです。トマスカップとはサッカーでいうワールドカップと同じ、世界大会のことです。

体育館にコートを作つて、全校生徒の前で試合形式のエキシビションを披露してくれました。6月に教育実習生として本校で実習を行なつた権藤先輩も駆けつけてくれました。



左から

嘉村 健士 選手 (H20年卒業)  
橋本 博且 選手 (H16年卒業)  
園田 啓悟 選手 (H20年卒業)

今後のご活躍をお祈りします！



↑ お祝いの花束を受け取る  
3人の日本代表選手たち

← 生徒からの質問にも  
丁寧に答えてくださいました

トマスカップ優勝報告会

世界で活躍する八代東高校の先輩たち